

上小だより

令和7年9月1日
文責 校長 山本祥博

育成をめざす3つの力「思いやりの心・がんばりぬく力・伝える力」

チャレンジの2学期に

「今日も暑いですね。」の言葉がまだまだ終わりそうもありません。皆様いかがお過ごしでしょうか。2学期が始まりました。子供たちにとってもいろいろな思い出の残る夏休みだったのではないのでしょうか。1学期の終業式で2つだけ約束しました。それは、

①いのちを大切に過ごすこと。

②2学期にがんばりたいことを探しておくこと。

です。始業式で、いのちを大切に元気に2学期を迎えることができたことについて感謝の話をしました。今年は、戦後80年。わずか80年前は、生きられることが当たり前ではなかった時代です。生きることにも怯えることもなく、元気に笑顔で過ごせることを改めてありがたく感じるとともに、今そして未来の一人一人の幸せのために語り合い、学び合えるこの時間を大切にしていきたいと思いました。また、2学期にがんばりたいこととして夏の全国陸上大会で2位に輝いた本校卒業生あさぎり中学校3年生の田上貴翔君、6位に入賞した尾方優璃君のこと交えて、目標を持つこと、チャレンジ、努力することの大切さについて話しました。2学期も運動会をはじめ楽しいことがたくさん待っています。一つ一つの活動、経験、一日一日の学び、ふれあいが子供たちの力となり豊かな人生へとつながっていきます。今学期もよろしくお願いいたします。

文科大臣メッセージを配りました。

先日、文部科学省から発出されました文科大臣メッセージをお子様に配付いたしました。ご承知のとおり、長期休業明けはさまざまな心理状態が働き、命に係わる危険性が高まるといわれます。始業式や学級でも「何かあったら一人で悩まず、おうちの人、友達、先生に話してください。」と伝えました。もし、いつもと様子が違うようなことがありましたら、声をかけ、不安や悩みの声に耳を傾けてください。心配なことがありましたら学校へもご連絡ください。何よりも命を守り、命を育むことが大切です。

先生たちも学びの夏休みでした。

「先生たちは夏休み何をしてるんですか？」と問われることがあります。学校業務の他に各教科担当やそれぞれの校務に応じた会議、あさぎり町に勤務する教職員対象や校内での研修、そして、現地向いての研修に参加しています。私たちにとって夏休みこそ学べる時間です。実際に見聞きすることで「これはこんなことだったのか。」「子供たちにこんな言葉で伝えよう。」と、そこには新しい発見、気づきがあります。先生たちの学びは子供たちの学びにつながります。学ぶと自分の見方が広がります。学ぶと心に余裕ができます。学ぶと先のことが見えます。先生たちの積極的に学ぶ姿をこどもたちに学んでほしい、真似してほしいと思った夏休みでした。

